

風早北部 防犯情報 しょうなん

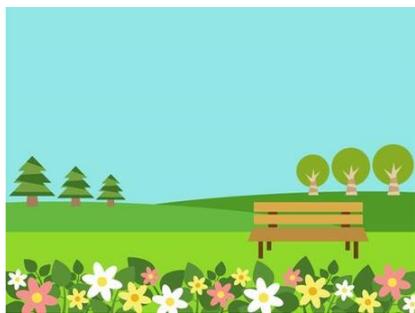


あなたは・ご存知でしたか？意外ですが・・・ 「ガーデニング」が防犯対策の近道

近年、空き巣や殺人などの犯罪は減っています。防犯カメラが増えたことで、監視の役割を人がいなくても機械で果たすことができるようになり、犯罪を行動に移すことができる環境が減ってきたのが要因かもしれません。また、マンションなどはオートロックの建物も増え、監視カメラがついているところが多いです。しかし、周りに他の家がない一軒家などは、依然空き巣に狙われるリスクが高く、危ないかもしれません。そういった場合の対策として、庭のガーデニングに凝ったりすることが有効です。

何故かという、ガーデニングに凝ると、家や付近に注意を示すことが多くなります。そうすると、「あの家は庭にも注意を配っている」というイメージになり、空き巣の人が狙いにくくなるのです。

「逆に、人の注意があまりないことがうかがわれる家や、人目につかずに放置されている場所は犯罪が起こりやすいです。例えば、地方の無人駅の駅前の駐輪場で自転車が盗まれる事件が多発していたことがありました。そこで、駐輪場にプランターをいくつか植え、花を植えるようにしたところ、花の手入れをする人が立ち寄るようになったのはもちろん、散歩中の子供達や街の人々も花を見に立ち止まるようになり、駐輪場に人がいることが増え、自転車があまり盗まれなくなりました。



地域全体では、定期的なごみ収集活動とともに、公共施設（町内会の共有地や集会施設周辺、近所の公園など）に、花卉を植える活動を積極的に行う姿勢は、犯罪組織にとっては好ましい行動ではない＝犯罪者が犯行をあきらめたり、間違いなく躊躇するはずで

その観点では、日頃の環境活動が有効な防犯対策になる、即ち、防犯と防災活動を同じ専門部に担わせるより、「防犯」は環境部など他の専門部に移管し実施することこそ、効果的な地域防犯が実現可能とも考えられます。

次頁の「空き巣が嫌う庭」も参照